

【募集】

第7回図書館レファレンス大賞 (オンライン)

ここ一年余り、社会全体がコロナ感染拡大の影響を受けています。図書館も同様に、休館や開館時間の短縮、利用制限などを余儀なくされた図書館も多いようです。そんなウイズコロナの「新しい日常」にあっても、図書館は正確な情報を発信し続けることで、いっそう利用者からの信頼を高めていくことが求められます。レファレンスサービスは、その代表的な、先頭に立って機能を果たすサービスといえましょう。

ここに第7回を迎える図書館レファレンス大賞は、これまで同様に、質問・回答の事例と、レファレンスサービスの利用促進に向けた取り組み事例の2タイプを募集するかたちで実施します。

今回は、感染拡大終息に向けて、またワクチン接種円滑化に関わるなど、コロナ禍解決にかかる回答事例や利用促進の取り組みを特に授賞対象とする予定です。館種を越えて医療関係者と連携することで問題解決を図ったレファレンスサービスなども対象となりますので、ふるってご応募ください。

図書館レファレンス大賞実行委員会 委員長 糸賀雅児

●募集する内容

- 平成30年度以降に図書館及び図書館利用者が体験したレファレンスサービスの質問・回答の事例
- 平成30年度以降に実施されたレファレンスサービスの利用促進を図る取り組み事例

●応募できる方

- 図書館(機関または職員。図書館の館種や規模は問いません)
- 図書館利用者(個人または法人・団体(NPO法人、行政職員)等)

◆図書館総合展ウェブサイト内の開催案内ページ



●応募期間・応募方法

- 応募期間:令和3年7月1日(木)～8月31日(火)まで
- 宛先・問合せ先: LF@j-c-c.co.jp

●審査方法及び授賞

- ① まず書類審査を行い、最終審査(プレゼンテーション動画提出)に進む3件および審査員会奨励賞(最大5件程度)を選定します。審査にあたり、レファレンスサービスを提供したり、受けたりした図書館の館種や地域性、蔵書規模等が考慮されます。
- ② 最終審査にすすんだ応募者(グループ)は、プレゼンテーション動画(10分以内)を作成・提出し、それにもとづいて審査員審査が行われます。
- ③ これをもとに令和3年11月8日(月)に審査会の様子が放映されるオンライン放送(第23回図書館総合展 ONLINEのなかで開催)において、文部科学大臣賞、公益財団法人図書館振興財団賞、審査員会特別賞の各賞が決定され、あわせて表彰されます。

☆開催要項また過去の受賞事例、最終審査会の様子(動画)などは図書館総合展公式webサイトでみられます☆

<https://www.libraryfair.jp/>

主催:図書館レファレンス大賞実行委員会

後援:文部科学省、公益社団法人日本図書館協会

協賛:公益財団法人図書館振興財団

協力:図書館総合展運営委員会